

が共通して好きなのはドアイズなの。」「
B「ラモーンズやイギー・ポップも共通の好みだよね」
A「80年代にはシンディ・ローパーやマドンナ、プリンスのようなポップ・ミュージックを聴き始めて、そこからキュアーやニック・ケイヴなんかが好きになっていった。今はもう何の偏見もなくいろんな音楽を聴くようにしているわ」
——今作「イエス、ヴァージニア」は、前作と比べると非常にポップになりましたね。
A「そう言ってもらえると嬉しい。私たちとプロデューサーの狙いも、まさにそこにあったから。それに、自分の中で、良い曲」というものの条件が変わってきた部分もあるかもしれない。前は、良い曲を作るには複雑なコード進行や構成が必要なんだって思ってた。きつとシンプルにするのが怖かったのね。でも最近はその少ないコード進行でどれだけ強力なメロディを書けるか。どれだけシンプルでアンサンブルにできるか」ということに興味が移ってきたわ」



ある意味ではタブーに挑戦した曲もありますね。
A「こういう世界も一方では存在するんだということ、オーディエンスに受け止めてほしいと思って書いているの。特に過剰な反応を期待しているわけでも、敢えてショッキングなことを歌ってやろうと思ってるわけでもなくて。それから歌詞を
書く時に気をつけているのは、普段使っている言葉をできるだけそのまま取り込むということ。そうすると下品な言葉遣いがとても多くなってしまっただけだね(笑)」
——アウトサイダーへ向けての音楽というわけじゃないのですか。
A「みんなタックな部分ももっているはずだよ(笑)」
B「小さい頃は母親のコレクションをよく聴いていたね。クラシックやフォーク・ミュージックのレコードが家にたくさんあったんだ。どれもすごく気に入って何度も聴いたよ。大きくなってからは、ジョン・クーパー・メレンキャンプやクリムナんかを聴いていた」
A「私も母親のコレクションを聴いていたわ。うちの母親はレコードを
聴くより、もっぱらジャケッットを壁に飾るのが趣味だったみたいだけど(笑)。その影響で、私もヴィジュアルに入ったジャケッットのアルバムばかり何度も聴いていた。特に好きだったのは、ビートルズの「サージエント・ペパーズ」とドアイズの「ハートに火をつけて」。ドアイズは本当に最高。私とブライアン」

THE DRESDEN DOLLS Interview

白塗りのメイクに黒装束という奇抜なルックスで、ピアノを叩きながら素晴らしい歌を叫ぶように歌うアマンドと、そんな彼女を時に支え、時に煽りながら的確なリズムを繰り出すブライアン。そんな二人組ドレスデン・ドールズのセカンド「イエス、ヴァージニア」がリリースされる。前作に比べてポップになったサウンドは、ルックスで食わず嫌いをしているであろうリスナーにも強く訴えかける力を持っている。来日した二人に話を聞いた。
——二人は2000年にハロウィン・パーティで運命的な出会いをしたそうですね。
ブライアン(以下、B)「僕らの共通の友だちがハロウィンにホーム・パーティを聞くといいので誘われたんだ。行ってみたら物凄く大きな家でね。飾り付けもゴージャスだったし、みんなが仮装していて魔法にかかったような気分になった(笑)。そのパーティでアマンドが一人ピアノの弾き語りをやった。それを観た時、自分の人生が変わってしまったんじゃないかと思うくらいの衝撃を受けたんだ」



YES, VIRGINIA

ロードランナー / RRCY-21259 / 2006.3.10

PROFILE

◆マサチューセッツ州ボストンで結成された、アマンド・パーマー(vo.p)とブライアン・ヴィグリオネ(da.perc)によるユニット。4歳でピアノを弾き始め、9歳で作曲りを始めたアマンドと、同じく4歳でドラムを叩きだしたブライアンが、2000年のハロウィン・パーティで運命的に出会い、結成。地元や東海岸でライブ活動を展開し、03年にアマンド主催のインディーレーベル、Eight Foot Recordsからデビュー・アルバム「ザ・ドresden・ドールズ」を発表。そのシリアリカルなパフォーマンスが各メディアやアーティストに絶賛される。05年にはフジロックにも出演し、日本でも存在感をアピール。今年5月、セカンド「イエス、ヴァージニア」がリリースされる。

ザ・ドresden・ドールズ

THE DRESDEN DOLLS

※取材・文：黒田隆彦
Takaoi KURODA
※通訳：国田ジンジャー
Ginger KUNITA

※撮影：坂本正都
Masahiro SAKAMOTO

前作、良い曲を作るには複雑なコード進行や構成が必要なんだって思ってた。きつとシンプルにするのが怖かったのね。でも最近はその少ないコード進行でどれだけ強力なメロディを書けるか」ということに興味が移ってきた

実際に二人でセッションしてみた時の第一印象は？
アマンド(以下、A)「始めて5分もしないうちに、これだ」と思った。魔法がかかったように演奏に没頭したわ。今までの私の人生は、この瞬間のためにあったんじゃないかと思っただけだよ」
——それまではどのような音楽を聴いてきましたか？

B「小さい頃は母親のコレクションをよく聴いていたね。クラシックやフォーク・ミュージックのレコードが家にたくさんあったんだ。どれもすごく気に入って何度も聴いたよ。大きくなってからは、ジョン・クーパー・メレンキャンプやクリムナんかを聴いていた」
A「私も母親のコレクションを聴いていたわ。うちの母親はレコードを